

2023年2月14日
国立大学法人 鹿児島大学
日本エアコミューター株式会社
日本航空株式会社

愛着をもって「地域」を支えるパイロット人財の創出に向け、 2月20日にSKYCAMP第3期が開講

国立大学法人鹿児島大学(所在地:鹿児島県鹿児島市、学長:佐野 輝、以下「鹿児島大学」)、日本エアコミューター株式会社(所在地:鹿児島県霧島市、社長:武井 真剛、以下「JAC」)、日本航空株式会社(所在地:東京都品川区、社長:赤坂 祐二、以下「JAL」)の3者による連携協定のもと発足したSKYCAMPプログラム(*)は、2月20日(月)に第3期の開講を迎えます。さまざまな学部・研究科から合計8名が参加し、パイロット養成を担う株式会社Japan General Aviation Service(以下「JGAS」)の鹿児島空港にあるフライトトレーニングセンターで約2週間の操縦飛行を体験します。

(*)2020年10月15日付プレスリリース「鹿児島大学とJALグループは、地域に密着したパイロット人財創出のための連携協力協定を締結します」参照URL:<https://press.jal.co.jp/ja/release/202010/005799.html>



【第2期 SKYCAMP参加メンバー (女性2名含む)】



【実機でのフライト訓練中の様子 (昨年)】

■SKYCAMPとは

鹿児島県を中心とした地域航空を永続的・安定的に支えていくため、パイロットを目指す人財の裾野の拡大・発掘・育成について鹿児島大学、JAC、JALの3者が締結した連携協力協定に基づき実施される鹿児島大学の学生を対象とした**実践型のインターンシップ**です。

選出された学生は、約2週間の共同生活をしながら、JGASやJACの運航乗務員による座学、シミュレーター訓練を実施して操縦の基礎を学び、最終的には学生自らが操縦する実機でのフライト訓練を行います。また、これらのプログラムを通して、単に技術を磨くだけではなく、地域航空・離島振興への理解、地域への愛着や仲間を大切に思う美しい心を持った人財の育成を目指します。

SKYCAMP終了後、パイロットとしての適性を認められた2名は、3者より資金面での支援を受け、JACの条件付内定者としてパイロットライセンスの取得を目指します。

■3期 参加学生紹介 ()内は出身地 ※学部3年生または修士1年生が参加します。

法文学部:1名(鹿児島県鹿屋市)、法文学部:1名(宮崎県)、教育学部:1名(山梨県)、工学部:3名(鹿児島県霧島市、福岡県、大分県)、農学部:1名(鹿児島県霧島市)、理工学研究科:1名(鹿児島県枕崎市)

今年は、昨年に続き女性が2名参加することに加えて、教育学部、農学部出身の学生も初めてメンバーとなるなど、出身地も含めさまざまなバックボーンを持つ学生が集い、2週間のインターンシップに臨みます。